

令和元年10月4日

保護者の皆様

札幌市立藤野中学校
校長 森 剛彦

令和元年度 全国学力・学習状況調査結果について

秋冷の候、保護者の皆様にはますますご健勝のこととお喜び申し上げます。また、日頃から本校の教育活動に温かいご理解とご協力をいただき心から感謝申し上げます。

さて、本年4月に実施されました標記の調査につきまして、文部科学省から届いた調査結果をもとに、本校において、生徒への教育指導の充実や学習状況の改善等に役立てるために分析を進めてまいりました。このほど、分析結果がまとまりましたので、その概要について別紙の通り保護者の皆様にお知らせするとともに、学校ホームページにも掲載をいたしました。

なお、本調査により測定できるのは学力の特定の一部分であり、学校における教育活動の一側面であることをご理解いただけますようお願いいたします。

1 調査の概要

(1) 調査の目的

全国学力・学習状況調査は、以下①・②の取り組みを通じて、教育に関する継続的な検証改善サイクルを確立することを目的として実施されています。

- ① 義務教育の機会均等とその水準の維持向上の観点から、全国的な児童生徒の学力や学習状況を把握・分析し、教育施策の成果と課題を検証し、その改善を図る。
- ② 学校における児童生徒への教育指導の充実や学習状況の改善等に役立てる。

(2) 調査の対象

国・公・私立学校の小学校第6学年、中学校第3学年 原則として全児童生徒

(3) 調査の内容

① 教科に関する調査（国語、算数・数学、英語）

出題範囲は、調査する学年の前学年までに含まれる指導事項を原則とし、出題内容は、それぞれの学年・教科に関し、以下のとおりとする。

- ① 身に付けておかなければ後の学年等の学習内容に影響を及ぼす内容や、実生活において不可欠であり常に活用できるようになっていることが望ましい知識・技能等
- ② 知識・技能等を実生活の様々な場面に活用する力や、様々な課題解決のための構想を立て実践し評価・改善する力等に関わる内容

調査問題では、上記①と②を一体的に問うこととする。

② 生活習慣や学習環境等に関する質問紙調査（アンケート）

学習意欲、学習方法、学習環境、生活の諸側面等に関する調査。

(4) 調査実施日 令和元年4月18日(木)

2 「教科に関する調査」結果

【中学校国語】

4月18日に実施された、標記調査結果の概要についてお知らせいたします。なお、分析にあたってはそれぞれの領域ごとに本校の正答率と全国平均を比較しました。その結果を、以下のような言葉で5段階に示しています。

- ・全国平均との差が、+3.1ポイント以上 →「上回っている。」
- ・全国平均との差が、+3.0～+0.1ポイント →「ほぼ同程度であるが、やや上回っている。」
- ・全国平均と同じ →「同程度である。」
- ・全国平均との差が、-3.0～-0.1ポイント →「ほぼ同程度であるが、やや下回っている。」
- ・全国平均との差が、-3.1ポイント以下 →「下回っている。」

本校の概要	今回の調査における課題	改善の方向
<p>【学習指導要領の領域等】</p> <p>□「話すこと・聞くこと」の平均正答率 ・全国平均を下回っている。</p> <p>□「書くこと」の平均正答率 ・全国平均を下回っている。</p> <p>□「読むこと」の平均正答率 ・全国平均を下回っている。</p> <p>□「伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項」の平均正答率 ・全国平均を下回っている。</p>	<p>○話合いの話題や方向を捉えること。</p> <p>○相手に分かりやすく伝わる表現について理解すること。</p> <p>○話合いの話題や方向を捉えて自分の考えをもつこと。</p> <p>○書いた文章を読み返し、論の展開にふさわしい語句や文の使い方を検討すること。</p> <p>○伝えたい事柄について、根拠を明確にして書くこと。</p> <p>○文章の構成や展開、表現の仕方について、根拠を明確にして自分の考えをもつこと。</p> <p>○文章の展開に即して情報を整理し、内容を捉えること。</p> <p>○文章に表れているものの見方や考え方について、自分の考えをもつこと。</p> <p>○封筒の書き方を理解して書くこと。</p> <p>○語の一部を省いた表現について、話や文書の中での適切な活用の仕方を理解すること。</p>	<p>○討論の過程において話題や目的について再確認し、発言の仕方や目標とする到達点に向けた話題の絞り込みについて検討するなど、話合いの仕方を見直して改善する要素を含む学習活動の充実。</p> <p>○課題に沿って、文章や図表などから必要な情報を取り出し、伝えたいことの根拠としてふさわしいかどうかについて検討しながら自分の考えを書く学習活動の充実。</p> <p>○文章に表れているものの見方や考え方を分析的に捉えて自分の視点を広げ、新たなものの見方や考え方を発見することを課題として設定した学習活動の充実。</p> <p>○同一の文章を読む中で互いが着目した表現に対する考えを交流して、それぞれの考えを広げたり深めたりする学習活動の充実。</p> <p>○手紙の形式に基づき、文字の大きさや配列に注意しながら丁寧に読みやすく書くなど、書写の能力や生活と関連させた学習活動の充実。</p> <p>○事象や行為などを表す多様な語句について、具体的な場面に基いて考える学習活動の充実。</p>

【中学校数学】

4月18日に実施された、標記調査結果の概要についてお知らせいたします。なお、分析にあたってはそれぞれの領域ごとに本校の正答率と全国平均を比較しました。その結果を、以下のような言葉で5段階に示しています。

- ・全国平均との差が、+3.1ポイント以上 →「上回っている。」
- ・全国平均との差が、+3.0～+0.1ポイント →「ほぼ同程度であるが、やや上回っている。」
- ・全国平均と同じ →「同程度である。」
- ・全国平均との差が、-3.0～-0.1ポイント →「ほぼ同程度であるが、やや下回っている。」
- ・全国平均との差が、-3.1ポイント以下 →「下回っている。」

本校の概要	今回の調査における課題	改善の方向
<p>【学習指導要領の領域】</p> <p>□「数と式」の平均正答率 ・全国平均を下回っている。</p> <p>□「図形」の平均正答率 ・全国平均を下回っている。</p> <p>□「関数」の平均正答率 ・全国平均を下回っている。</p> <p>□「資料の活用」の平均正答率 ・全国平均を下回っている。</p>	<p>○簡単な連立2元1次方程式を解くこと。</p> <p>○与えられた説明を振り返って考え、式変形の目的を捉えること。</p> <p>○事柄が成り立つ理由を説明すること。</p> <p>○平行移動の意味を理解すること。</p> <p>○証明の根拠となる三角形の合同条件を理解すること。</p> <p>○反例の意味を理解すること。</p> <p>○結論が成り立つための前提を考え、説明すること。</p> <p>○反比例の表から、x、y の関係を式で表すこと。</p> <p>○事象を数学的に解釈し、問題解決の方法を数学的に説明すること。</p> <p>○資料を整理し、最頻値を読み取ること。</p> <p>○問題解決のために、適切な代表値を用いること。</p>	<p>○式の計算において、その意味や公式について理解し、基礎的、基本的な知識・技能を身につけるための活動の充実。</p> <p>○数量や図形などについての関係を理解し、知識を身につけ、記号や用語を用いて簡潔に表現したり、数量関係の技能を身につける活動の充実。</p> <p>○関数において、事象を数学的にとらえ、表、式、グラフを相互に関連付けて理解し、知識を身につけることと、数学的に表現・処理する技能を身につける活動の充実。</p> <p>○資料を活用することの意味を理解するなどの知識を身につけ、整理する技能を身につける活動の充実。</p> <p>○すべての分野において、基礎基本的な知識・技能をもとに数学的表現や考察、説明する活動の充実。</p>

【中学校英語】

4月18日に実施された、標記調査結果の概要についてお知らせいたします。なお、分析にあたってはそれぞれの領域ごとに本校の正答率と全国平均を比較しました。その結果を、以下のような言葉で5段階に示しています。

- ・全国平均との差が、+3.1ポイント以上 →「上回っている。」
- ・全国平均との差が、+3.0～+0.1ポイント →「ほぼ同程度であるが、やや上回っている。」
- ・全国平均と同じ →「同程度である。」
- ・全国平均との差が、-3.0～-0.1ポイント →「ほぼ同程度であるが、やや下回っている。」
- ・全国平均との差が、-3.1ポイント以下 →「下回っている。」

本校の概要	今回の調査における課題	改善の方向
<p>【学習指導要領の領域等】</p> <p>□「聞くこと」の平均正答率 ・全国平均を上回っている。</p> <p>□「読むこと」の平均正答率 ・全国平均を下回っている。</p> <p>□「書くこと」の平均正答率 ・全国平均を下回っている。</p>	<p>○聞いて把握した内容について、適切に応じること。</p> <p>○聞いた内容を理解して、情報を正確に聞き取ること。</p> <p>○書かれたものの内容を正確に読み取ること。</p> <p>○まとまりのある文を読んで内容を理解すること。</p> <p>○書かれた内容について、話の内容や書き手の意見などをとらえ、自分の考えが伝わるよう適切に応じること。</p> <p>○与えられた情報に基づいて、適切に動詞を活用させるなど、基本的な文法事項等を理解して正確に文を書くこと。</p>	<p>○聞いた内容を理解するだけにとどまらず、さまざまな場面・状況・目的に合わせて、自分の考えと結びつけながら適切に応じる活動の充実。</p> <p>○書かれたものの内容のみならず、書き手の意見なども捉え、それに対する自分の意見や考えを相手に伝えるよう表現させる活動の充実。</p> <p>○速く正確に内容を読み取れるようにする活動の充実。</p> <p>○既習の言語材料を目的・場面・状況に応じて繰り返し活用する言語活動の充実。</p> <p>○誤りに生徒自身が気づくよう促し、学習内容の定着を図る指導の工夫。</p> <p>○家庭学習の定着を図る指導の工夫。</p>
<p>【参考】</p> <p>□「話すこと」領域</p> <p>*平均正答率は、「参考値」として扱うよう国から示されているため、本校の課題と改善の方向のみを掲載しております。</p>	<p>○基本的な文法を理解して、応答すること。</p>	<p>○日常的な話題について伝える活動における、言語使用の適正化指導の充実。</p>

3 「生活習慣や学習環境等に関する質問調査」結果

○調査結果の中から、主に、本校が目指す3つの生徒像と特に関連の深い設問を取り上げました。

1. 創造的な知性をみかく生徒

単位：%

設問番号	質問事項	抽出の基準	本校	全国
17	家で、自分で計画を立てて勉強をしていますか	している/ どちらかといえばしている	38.3	50.4
18	学校の授業時間以外に、普段(月曜日から金曜日)、1日当たりどれくらいの時間、勉強をしますか(学習塾で勉強している時間や家庭教師に教わっている時間も含む)	1時間以上	29.9	35.5
33	授業で学んだことを、ほかの学習に生かしていますか	している/ どちらかといえばしている	67.3	74.9
38	1, 2年生のときに受けた授業で、自分の考えを発表する機会では、自分の考えがうまく伝わるよう、資料や文章、話の組立てなどを工夫して発表していたと思いますか	当てはまる/ どちらかといえば当てはまる	45.8	55.8

- ・自分で計画を立てて勉強すること以前に、1日1時間以上勉強している生徒が3割弱。残り7割の生徒の家庭学習が1時間未満であることが見て取れます。受験には1年生からの復習を計画的に行う必要があります。これは4月の調査結果ですが、受験まで約5か月となった今、3年生には毎日、2時間以上の計画的な復習に取り組んでほしいと思います。(設問 17.18)
- ・社会に出て生きて働く力として、自分で考えたことを意見交換したり、議論したりして、新たな考えに気が付いたり、自分の考えを広げたり深めたりする力が求められています。授業においては「主体的で対話的な学び」と位置付けて、今後取り組むこととなります。本校の生徒が苦手とする分野ではありますが、授業を工夫しながら身に付けさせていきたいと考えております。(設問 33.38)

2. 豊かな情操をつちかう生徒

設問番号	質問事項	抽出の基準	本校	全国
8	将来の夢や目標を持っていますか	当てはまる/ どちらかといえば当てはまる	60.8	70.5
16	人の役に立つ人間になりたいと思いますか	当てはまる/ どちらかといえば当てはまる	92.5	94.3
19	学校の授業時間以外に、普段(月曜日から金曜日)、1日当たりどれくらいの時間、読書をしますか(教科書や参考書、漫画や雑誌は除く)	30分以上	13.1	12.4
24	地域や社会をよくするために何をすべきかを考えることがありますか	当てはまる/ どちらかといえば当てはまる	34.6	39.4

- ・設問 16「人の役に立ちたい」が設問 24につながっています。人の役に立ちたいという気持ちは、身近な行動として「気配り」となって現れます。確かに、校内では、荷物を持っているとドアを開けてくれる生徒や、自発的に教室の机の乱れを直したりする生徒に出会います。気配りは次の気配りを生み、連鎖となり校内に「思いやりの心」を醸成します。(設問 16.24)
- ・中学時代には、人や音楽、本との出会いから「憧れ」が生まれ、夢や目標に育つことがあります。これからも、たくさんの「出会い」を準備していきたいと考えています。(設問 8.19)

3. 健全な心身をきたえる生徒

設問 番号	質問事項	抽出の基準	本校	全国
5	自分には、よいところがあると思いますか。	当てはまる/ どちらかといえば当てはまる	73.9	74.1
15	いじめは、どんな理由があってもいけないことだと思いますか。	当てはまる/ どちらかといえば当てはまる	92.5	95.1

- ・生徒が自ら考え進んで実行する場面を学校祭や合唱コンクール等の準備の段階で計画的に設定し、達成感や充実感を得られるように指導しています。また、学校祭では他の発表への評価コメントを生徒が書いて、それを公表することによって、他者に認められる経験をさせ、そのことによる自己有用感や自己肯定感を高めさせるように取り組んでいます。(設問5)
- ・「いじめ」については、「いじめ防止基本方針」に基づいて、年3回の教育相談や市のいじめ調査を実施し、予防といじめにつながる問題の解決に取り組んでいます。設問15については、全校、学年道徳においてゲスト講師やスクールカウンセラーを招き「講話」をしてもらう他、学年教師ローテーションによる道徳の授業や日常的な場面指導を通して、「他者を思いやる心」や「命の大切さ」を訴えてきています。今後もより一層指導の充実を図り、「当てはまる」100%を目指していきます。(設問15)